

天文教育 7

2017

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



〈特集〉中部支部天文教育研究集会 in しらびそ高原

〈特別記事〉法人化準備委員会より

〈投稿〉世界天文コミュニケーション会議 2018 in 福岡 に
参加しよう 〈報告〉関東支部会

〈連載〉社会教育施設について考える／宇宙を観じる生活を！

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・ **締め切り**は1は原則として奇数月末日、2～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・ **広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000、半ページ ¥12,000、1/4ページ ¥7,000、チラシの折り込み ¥20,000です。

※本誌に掲載された記事は、当会 Web サイト (<http://tenkyo.net/>) にて PDF ファイルの形で公開を予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合は、ご投稿の際にその旨ご連絡をお願いいたします。

なお、2014年9月号から、当会会員に対しては会誌発行後に速やかに、パスワード制限※をかけた形で閲覧できるようにし、発行から1年経過後にパスワード制限を解除して、広く一般に公開いたします。

※今号「事務局からのお知らせ」の末尾をご参照ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word 以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

御池山隕石クレーターに流れ込む天の川

日時：2017年5月21日3時09分、撮影地：しらびそ高原（長野県飯田市）、撮影：大西浩次

新海誠監督の長編アニメーション映画「君の名は。」では、彗星が岐阜県の糸守町に落下することで話は展開する。このような、地球に接近する軌道を持つ天体（NEO）の衝突が人類の存続に危機的な状況をつくることが知られている。実は、長野県南部のしらびそ高原に隕石衝突によって出来たクレーターがある。御池山隕石クレーターとして知られている隕石クレーターの大きさは約900mであるが、これは45m程度の小惑星が、およそ2～3万年前に御

池山の南東斜面に衝突して出来たと推定されている。なお、長年にわたり調査研究を続けていた坂本正夫氏によって、2010年に隕石クレーターであることが実証された。この話は、当時地元では有名になったので、新海誠監督も、（意識的・無意識にかかわらず）この隕石クレーターをヒントにストーリーを思いついたのではないかと想像している。ちょうど中部支部会の開催されていた夜明け、この隕石クレーターが月明かりに照らされ浮かび上がっていた。その上に夏の天の川が注ぎ込んでいた。衝突直前がこんな夜空だったのかも知れない。

大西浩次